

# 第14回 日本小児心身医学会関西地方会

## プログラム・抄録集

### 【テーマ】

### —小児心身医療と関係性の発達—



\*会 期:平成29年1月22日(日)

\*会 場:学校法人 帝塚山学院 法人本部同窓会ホール  
〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3丁目10番51号

\*会 長:大堀 彰子  
帝塚山学院大学大学院 人間科学研究科  
こども心身医療研究所

## ごあいさつ

このたび、第14回日本小児心身医学会関西地方会を開催させていただくこととなりました。ようやく「公認心理師法」が施行される年に、臨床心理士が本地方会会長を務めさせていただくことは、身の引き締まる思いでございます。

今回のテーマは「小児心身医療と関係性の発達」とさせていただきました。私が約30年前、当時、チーム医療をめざし、日本小児心身医学会学会事務局でもあった、こども心身医療研究所で臨床の機会を得たことや、約10年前から、私学として本邦初の専門職学位課程を有する帝塚山学院大学大学院において、臨床実践力を備えた臨床心理士養成に携わることになったのも、多くの臨床家の皆様と「関係性」を築かせていただいたからこそと実感しております。

そして、臨床家同士はもとより、臨床家と治療(支援)を必要とする方との「関係性」の重視が、より有効な治療(支援)になることを再考したく、本テーマとした次第でございます。

大変光栄なことに、長年、関係性発達のご研究と実践に携わってこられた、発達心理学者・京都大学名誉教授 鯨岡 峻先生に「小児心身医療における新たな視点ー子どもの心の動きと実践者(治療者)の体験を重視した接面パラダイムー」をテーマにご講演いただけることになりました。さらに、教育講演として、関係性を考えるときに必須となる家族理解について、統合的家族療法の第一人者・山梨大学大学院教授 藤田博康先生に「小児心身医療における家族理解・家族支援の重要性ー統合的家族療法の視点による見立てと支援の実際ー」のテーマでのご講演を賜ることもになりました。

多くの文豪や実業家を生み出した文教地区帝塚山の地で、静かにそして熱く、臨床の知恵を相互に深めていくことができる会になれば、幸いです。

最後になりましたが、開催にあたりご尽力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

第14回日本小児心身医学会関西地方会

会長 大堀 彰子

帝塚山学院大学大学院人間科学研究科/こども心身医療研究所

# ご案内とお願い

## 【参加される方へ】

- 受付は午前9時30分から行います。
- 当日、このプログラム・抄録集をご持参ください。
- 参加費は3,000 円です。2F ロビーの受付にてお支払いいただき、参加証をお受け取りください。
- 周辺にコンビニエンスストアや飲食店がございませんのでご希望の方には昼食をご用意致します(600円相当弁当を300円にて)。ご希望の方は1月18日までに、お名前・ご所属・ご連絡先メールならびに電話番号を、学会事務局(電子メール: 14syounisinsinkansai@gmail.com または ファックス: 072-292-2135)へご連絡いただきますようお願いいたします。尚、当日の販売受付はいたしませんのでご注意ください。

## 【座長の皆様へ】

- ご担当セッションの15分前までに受付へお越しいただき、ご到着の旨をお知らせください。
- 1演題12分(発表8分、質疑応答4分)です。進行にご留意いただき、時間厳守でお願いします。
- ご担当セッションから座長推薦演題を1演題選び、当日配布の用紙にご記入ください。

## 【演者の皆様へ】

- ご発表の30分前までに受付へお越しいただき、ご到着の旨をお知らせください。
- 全ての発表者は必ずCOI について題目の次のスライドにて開示してください。P. 3【日本小児心身医学会学術集会(地方会を含む)の講演・発表や抄録作成における留意点】を必ずお読みの上、ご準備ください。
- 1演題12分(発表8分、質疑応答4分)です。座長の指示にしたがって発表してください。
- 発表はPCでのプレゼンテーションのみです(音声再生・動画不可)。
- 演者の方は、PowerPoint(Windows版)で作成したデータを当日 USBメモリーでご持参ください。
- 当日はご発表の20分前までにデータ受付にて試写をお願いいたします。
- PCは事務局にてWindowsを用意しています。PCの持ち込みはご遠慮願います。
- ソフトはPowerPoint(Windows 版)2003~2013を基本とします。
- 文字化けを防ぐために下記のフォントをご使用ください。  
日本語 MS ゴシック MS Pゴシック MS 明朝 MS P明朝  
英語 Arial Century CenturyGothic

## 【二次抄録について】

学会誌『子どもの心とからだ』に掲載する二次抄録(400字以内)を1月末までに学会事務局アドレス 14syounisinsinkansai@gmail.com あてにご提出ください(学会当日も受け付けます)。

## 【認定点数】

日本小児心身医学会認定医8点 日本小児科学会専門医4単位  
日本心身医学会3単位 日本臨床心理士会2ポイント(発表者4ポイント)

## 【世話人会】

11時30分~12時30分 学校法人 帝塚山学院 法人本部同窓会ホール 3階会議室

## 【運営事務局】(お問い合わせ先)

帝塚山学院大学泉ヶ丘キャンパス[担当:事務局 橋本清美]  
〒541-0046 堺市南区晴美台4-2-2  
TEL:072-296-1331 FAX:072-292-2135  
E-mail: 14syounisinsinkansai@gmail.com

【日本小児心身医学会学術集会(地方会を含む)の講演・発表や抄録作成における留意点】

「ヘルシンキ宣言(以後の改訂を含む)」ならびに国内関連法規・指針等の規定を遵守し、以下の項目についても十分留意する。

1. 症例報告は個人の同定がなされないように情報の機密性に十分配慮し、また、対象となる個人の尊厳及び人権が十分に守られる内容でなくてはならない。なお、「論文や学会・研究会等で使用される患児の顔写真その他の取り扱いについてのガイドライン: 日児誌 107:168-171, 2003」に準拠する。
2. 臨床例(もしくは人体から採取された試料等)を用いる研究は、通常、各施設に定められた倫理委員会の承認が必要となるが、本会では本学会学術集会主催者もしくは本学会理事会(各地方会では地方会主催者もしくは当該の地方会役員会等)がこれを承認する。また、研究実施に際しては、わが国の行政による倫理指針における「インフォームド・コンセントの手続の簡略化」で定められる要件に該当する場合を除き、原則として、被験者(もしくは代諾者)からインフォームド・コンセントを受ける手続が必要となる。併せて、小児の被験者の場合は、インフォームド・アセントも適正に行われるように努めなければならない。  
ただし、その詳細は本学会学術集会主催者もしくは本学会理事会(各地方会では地方会主催者もしくは当該の地方会役員会等)の判断にゆだねる。なお、疫学研究、ヒトの遺伝子解析研究、ヒトの細胞を用いる研究、動物実験等を含む基礎研究に関しても同様に、国内関連法規・指針等に照らしたうえで、各施設のルールを遵守しなくてはならない。
3. 研究に関する倫理規定が未だ定められていない施設や個人でおこなう案件については、当該研究者の出身大学または日頃から地域で深く関係する施設の倫理委員会の判断に委ねられる。動物実験を含む基礎研究に関しても同様である。
4. 倫理的見地からの価値判断が困難であり、その判断如何によって社会的に重大な影響を与えうることが懸念される場合、当該研究者および発表者は、あらかじめ本学会学術集会主催者もしくは本学会理事会(各地方会では地方会主催者もしくは当該の地方会役員会等)に報告の上、その対応に係る助言を求めることが望ましい。
5. 利益相反に関しては、講演前にスライド等にて以下の内容の有無について開示する。  
該当しない場合は「利益相反はありません。」と表示し、いずれかに該当する場合は「利益相反について開示します。(〇〇株式会社から報酬あり)」などと表示する。

①報酬額 一企業・団体から年間100万円以上、②株式の利益一企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有、③特許使用料一つにつき年間100万円以上、④講演料が一企業・団体から年間50万円以上、⑤原稿料が一企業・団体から年間50万円以上、⑥研究費・助成金などの総額が一企業・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室等)に200万円以上、⑦奨学(奨励)寄付などの総額が一企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室等)に200万円以上、⑧企業などが提供する寄付講座企業などからの寄付講座に所属している、⑨旅費・贈答品などの受領一企業・団体から年間5万円以上、⑩上記の団体や企業に一等親の親族が現在勤務している。

下記のスライド例にてCOI開示  
様式1-A-1 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がない時

本学会の倫理規定を遵守いたします。

日本小児心身医学会  
COI開示  
筆頭発表者名 ○ ○ ○

発表演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

様式1-A-2 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時

本学会の倫理規定を遵守いたします。

日本小児心身医学会  
COI開示  
筆頭発表者名 ○ ○ ○

発表演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、  
 ①受託研究・共同研究費 ○ ○ 製薬  
 ②奨学寄付金 ○ ○ 製薬  
 ③寄付講座所属 あり(〇〇製薬)

(注: ①報酬、②特許料・利益、③特許使用料、④講演料、⑤原稿料、⑥受託研究・共同研究費、⑦奨学寄付金、⑧寄付講座所属、⑨贈答品などの報酬、の中から、開示すべき内容がある項目だけ記載すること)

様式1-A-3 企業がスポンサーのランチョンセミナーやイベントシンポジウム等で講演し、講演謝金等を受け取る場合

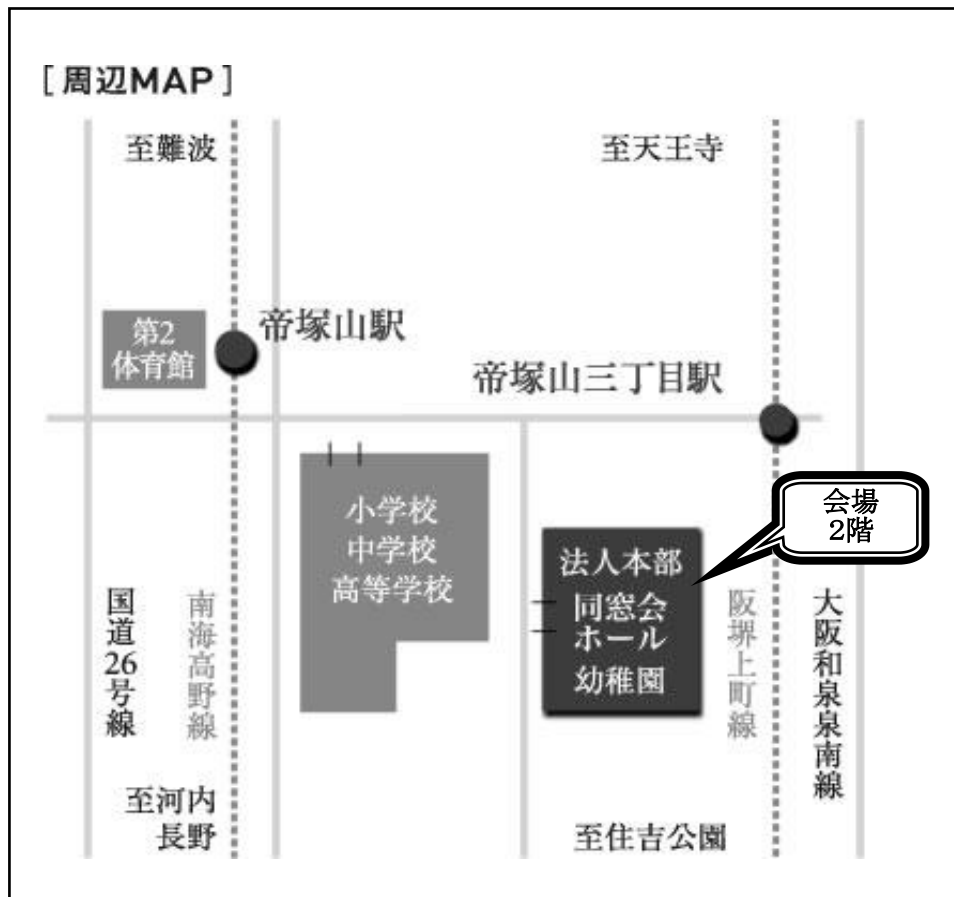
本学会の倫理規定を遵守いたします。

日本小児心身医学会  
COI開示  
筆頭発表者名 ○ ○ ○

発表演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、  
 ①受託研究・共同研究費 ○ ○ 製薬  
 ②奨学寄付金 ○ ○ 製薬  
 ③寄付講座所属 あり(〇〇製薬)  
 (注: ①報酬、②特許料・利益、③特許使用料、④講演料、⑤原稿料、⑥受託研究・共同研究費、⑦奨学寄付金、⑧寄付講座所属、⑨贈答品などの報酬、の中から、開示すべき内容がある項目だけ記載すること)

本講演は、製薬から支援を受けています。(上記に該当するものがない場合は、この記述のみを記載する)

## 会場のご案内



### 学校法人 帝塚山学院 法人本部同窓会ホール

〒558-0053  
大阪市住吉区帝塚山中3-10-51

- ・南海高野線「帝塚山」駅 下車徒歩5分
- ・阪堺電気軌道上町線「帝塚山3丁目」駅 下車徒歩5分

会場並びに周辺に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

# プログラム

開会の辞 (10:00～10:05)

第14回日本小児心身医学会関西地方会 会長  
帝塚山学院大学大学院 人間科学研究科/こども心身医療研究所  
大堀 彰子

セッション1:発達障害/移行・長期支援 (10:05～11:17) 座長 金 泰子  
大阪医科大学附属病院小児科  
長濱 輝代  
大阪市立大学大学院

1. 遊戯療法過程において模倣能力を獲得してきた自閉症男児の一例  
かなざきこどもクリニック/大阪府立大学心理臨床センター 益池 千瑛子
2. 母親が激しい思い込みを押し付けたと気づき、母子関係が改善した事例  
はばこどもクリニック 前田 ひろみ
3. 交通事故をきっかけにポタン恐怖症を呈した小学生男児とのプレイセラピー  
中野こども病院 臨床心理科 石川 茜
4. 就労移行支援を利用し、障害受容が進んだ青年期ASDの一例  
八尾徳洲会総合病院 八島 麻美子
5. 移行期医療における患者－医療者間の関係性発達への援助  
－小児期発症疾患をもつAYA世代男性の一症例を通して－  
大阪大学医学部附属病院 保健医療福祉ネットワーク部 田口 真由美
6. 妊娠・出産の捉え方が思春期からの潰瘍性大腸炎に影響を受けた一症例  
大阪市立大学大学院 生活科学研究科 大地 裕子

セッション2:発達障害児への早期支援プログラム (11:17～11:59)

座長 有井 悦子  
有井小児科医院

7. 発達障害早期支援プログラムにおける母子関係形成のプロセスの検討  
－「入れ子構造」構築の観点から－  
大阪市立大学大学院生活科学研究科 三船 直子

8. 母親がプログラムを楽しむことの意義  
—発達障害早期支援プログラムの担当ケースを通して—  
大阪市立大学大学院生活科学研究科 前期博士課程 宇野 友理奈

9. 子どもに寄り添い親子をつなぐ  
—発達障害早期支援プログラムの担当ケースを通して—  
大阪市立大学大学院生活科学研究科 前期博士課程 阪本 結花

10. 愛着発達の観点からみた関係性変化の過程について  
—発達障害早期支援プログラムの担当ケースを通して—  
大阪市立大学大学院生活科学研究科 前期博士課程 築 明日香

11. 母親の被受容体験が子どもに与える影響  
—発達障害早期支援プログラムの担当ケースを通して—  
大阪市立大学大学院生活科学研究科 前期博士課程 中村 誠都

休憩 (12:00～12:40)

特別講演 (12:40～13:40) 座長 大堀 彰子  
帝塚山学院大学大学院 人間科学研究科/こども心身医療研究所

小児心身医療における新たな視点  
—子どもの心の動きと実践者(治療者)の体験を重視した接面パラダイム—

京都大学 名誉教授  
鯨岡 峻

セッション3:心理技法 (13:45～14:45) 座長 奥見 裕邦  
近畿大学医学部内科学心療内科部門  
小林 穂高  
名張市民病院小児科

12. マインドフルネス認知療法について—呼吸法で人生が変わる  
さの小児科クリニック 佐野 博彦

13. 行動制限療法が奏功した機能的嚥下障害タイプの摂食障害9歳女児例  
関西医科大学小児科学講座 玉井 里奈子

14. 自ら積極的に治療技法を活用した小学生抜毛癖の一例  
こども心身医療研究所 加藤 敬

15. 児童養護施設における臨床心理士の役割  
—施設での取り組みから見えてきたもの—  
児童養護施設 大和育成園 岡村 悠里

16. 塗り絵を介した心理療法を導入した一例

八尾徳洲会総合病院 朴 祐 希

17. 起立性調節障害を発症し不登校から社会的適応に向かう思春期男子の面接過程

こやま小児科 川崎 優介

セッション4:心理査定/心理療法 (14:45~15:45)

座長 小山 佳紀

こやま小児科

藤原 由妃

こども心身医療研究所

18. 院内学級に在籍する思春期起立性調節障害児の入院中の心理的支えに関する検討

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 佐藤 叶芽

19. 認知特性を踏まえた治療的介入により適応状態の改善と情緒的成長が認められた一例  
—WISC-IV/DN-CASからの考察—

こども心身医療研究所 上村 泰徳

20. 1型糖尿病発症後に起立性調節障害を併発した一例

大阪医科大学小児科 橋本 文

21. 身体症状に対する心理的意味づけの効果と弊害  
—心理的意味づけによって症状変化が見られた事例検討から—

堺市立総合医療センター 長谷川 智枝

22. 器質的疾患と転換性障害との鑑別に苦慮した歩行障害の症例について

市立長浜病院 橋本 和幸

教育講演 (15:50~16:50)

座長 竹中 義人

医療法人たけなかキッズクリニック

小児心身医療における家族理解・家族支援の重要性

—統合的家族療法の視点による見立てと支援の実際—

山梨大学大学院 教育学研究科 教授 藤田 博康

閉会の辞 (16:50~17:00)

第14回日本小児心身医学会関西地方会 会長

帝塚山学院大学大学院 人間科学研究科/こども心身医療研究所

大堀 彰子

第15回日本小児心身医学会関西地方会 会長

医療法人宗紀会 つくだクリニック 院長 佃 宗紀



## 広告掲載企業

日本イーライリリー（株）

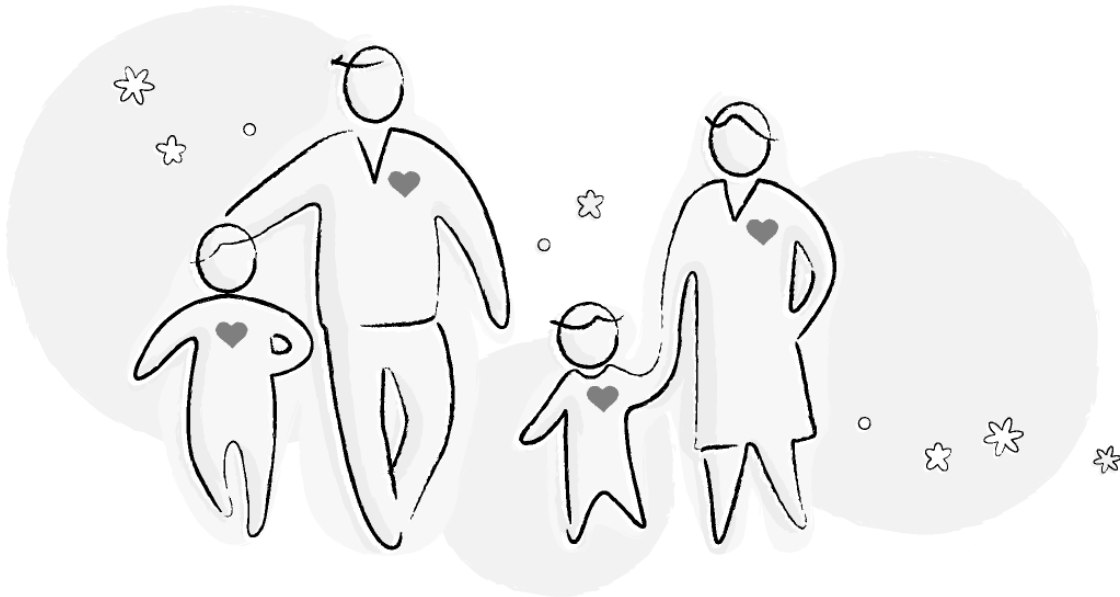
（株） ツ ム ラ

一般社団法人ワッフル

（株）クリエイションアカデミー

平成28年12月23日現在

敬称略



### 第14回日本小児心身医学会関西地方会

会 長	大堀彰子（帝塚山学院大学大学院／こども心身医療研究所）
事 務 局	奥田晃子 橋本清美 尾張寿代（帝塚山学院大学大学院事務課）
	藤原由妃（こども心身医療研究所）
準備委員	植田久美子（帝塚山学院大学大学院事務課）
	植田喜樹 血池千里 杉 佐知子 中川さとみ 浜崎慎也
	（帝塚山学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻修了生）
イラスト	石田静香（帝塚山学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻2回生）